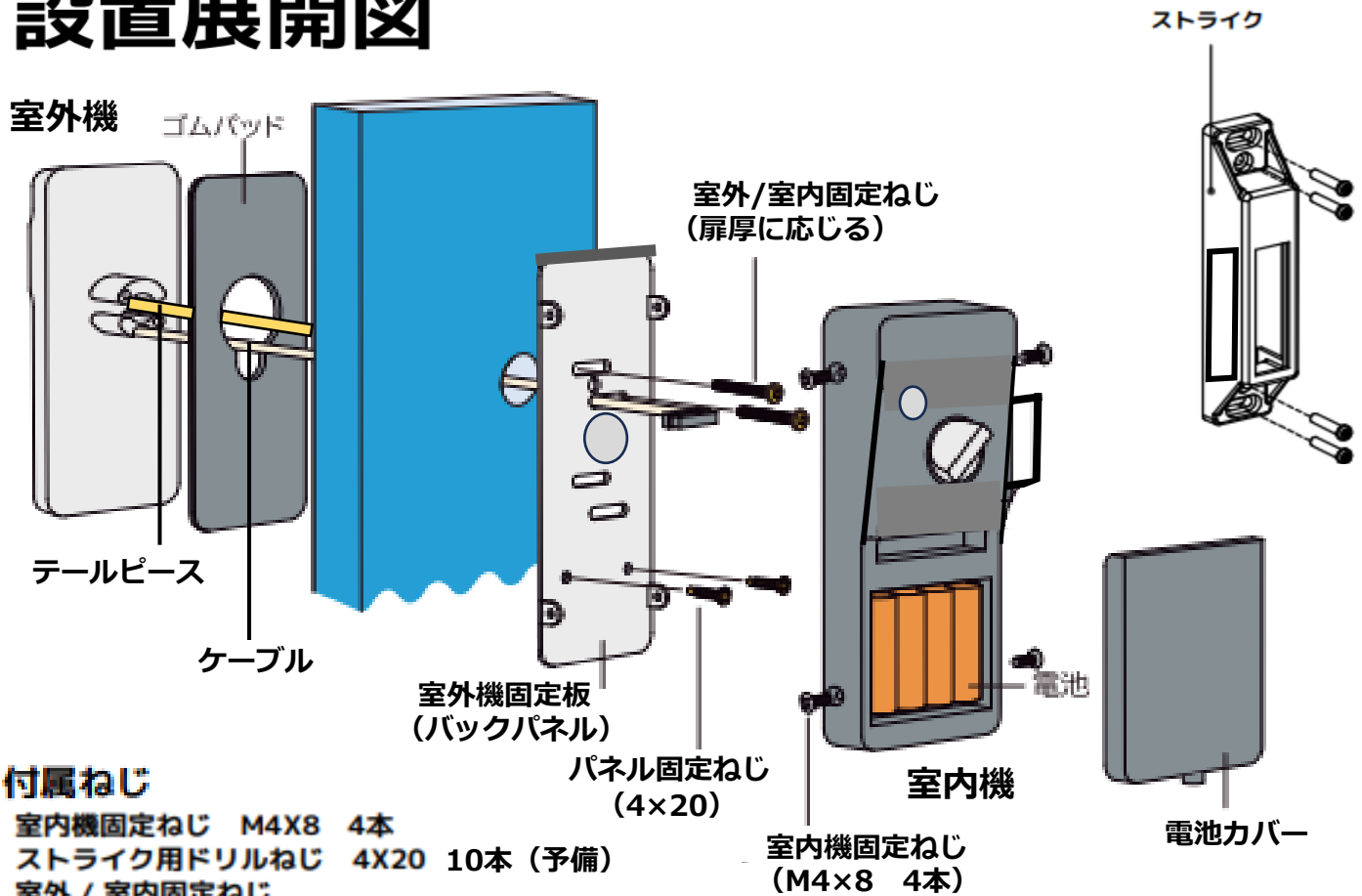







外開き 右勝手 開き扉の説明になります。

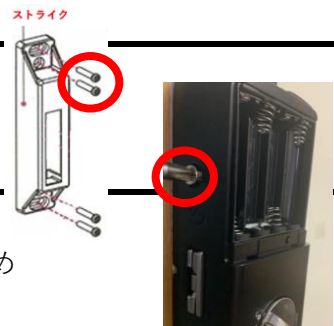
設置展開図



付属ねじ

- 室内機固定ねじ M4X8 4本
- ストライク用ドリルねじ 4X20 10本 (予備)
- 室外 / 室内固定ねじ
 - 扉厚30~40 M5X30 2本
 - 扉厚40~50 M5X40 2本
 - 扉厚50~60 M5X50 2本

写真	用途	取り付け場所
	M5-50 2本 室内機プレートと 室外機のねじ止め	扉厚に応じて
	M5-40 2本 室内機プレートと 室外機のねじ止め	扉厚に応じて
	M5-30 2本 室内機プレートと 室外機のねじ止め	扉厚に応じて
	P4-20 8本 ストライクのねじ止め	ねじ、予備あり
	M4-8 4本 室内機プレートと 室内機のねじ止め	左右上下4か所止め



◆取り付けに必要な道具（ご自身でご用意ください。）



※電動ドリル、ホルソー、ドリルビットをお持ちでない場合、セットになった「DD-01（デーデーゼロワン）」がございます。



◆製品内容物



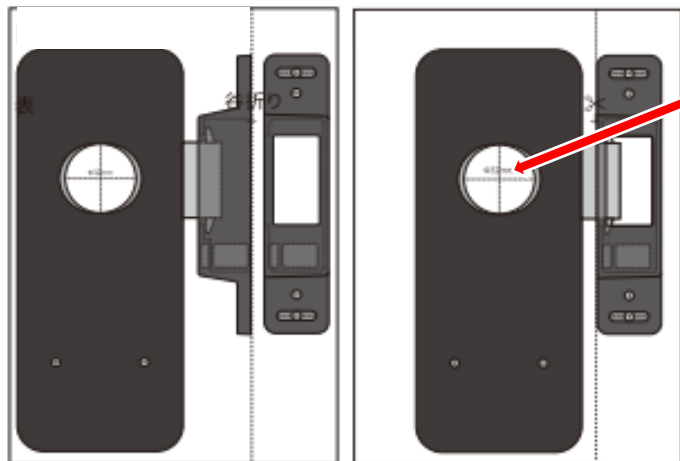
※商品は電子錠の機種により 個々の絵（デザイン）が異なります。

① 取付位置決め～取付穴加工

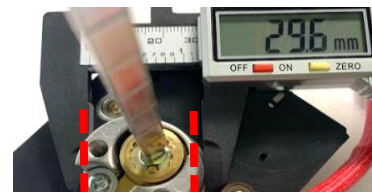
取り付ける位置を決め、マスキングテープで設置台紙を扉に貼ります。
ストライクと室内機をあてがいながら開閉確認を行います。

① 設置台紙の当て方

設置台紙は、必要に応じてカットしてご使用ください。
ボールペンの先などで穴を開けておくと後で印が付けやすくなります。

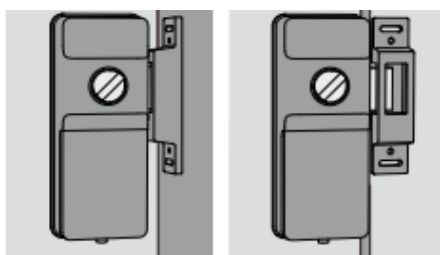


ホルソー穴あけ 32φ～40φ

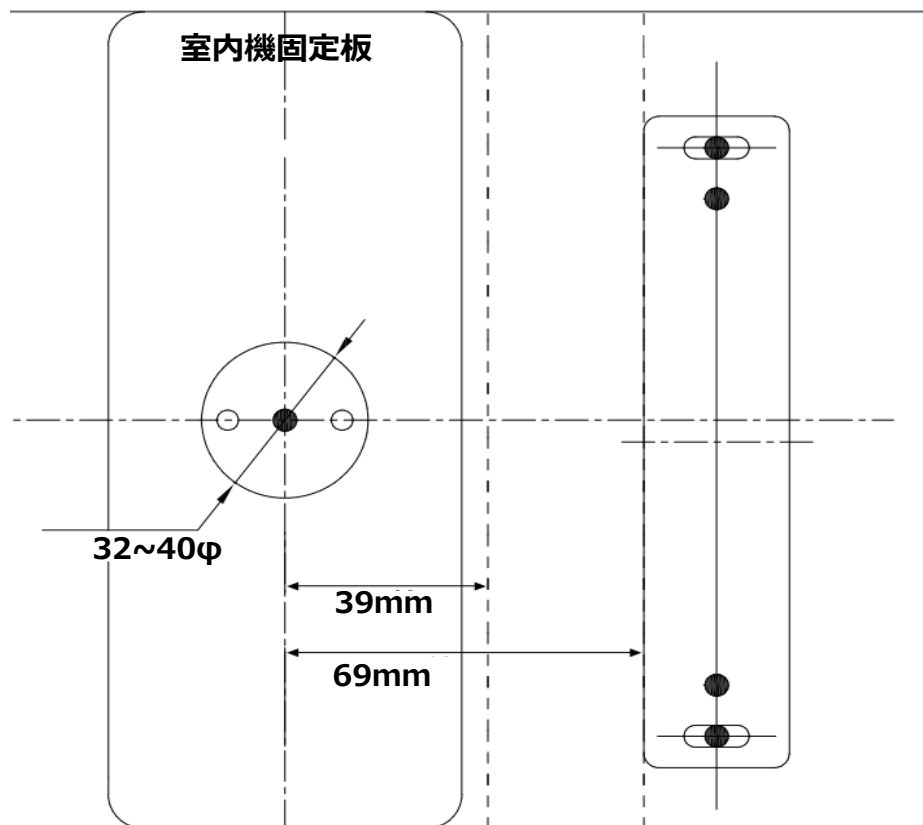
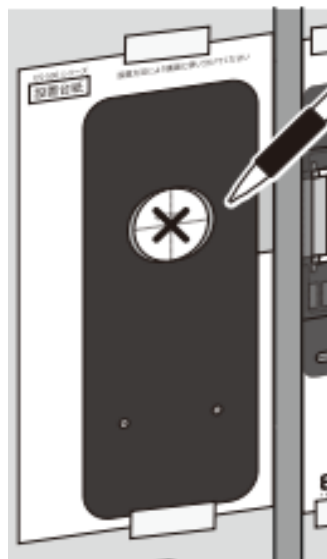
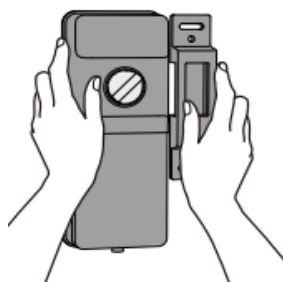


(参考資料：軸受けは実測29.6φ)

台紙を点線でカットし(ストライク部分と室内機部分を分離) マスキングテープで固定してください。ストライクと室内機を台紙に合わせて当てながらドアを開け閉めし、ストライクと室内機が干渉せず問題なく開閉できるか、デッドボルトを出し入れした際にストライクにきちんと収まるか等をチェックしてください。



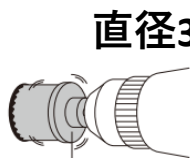
② 穴を開ける場所の中心に印を付ける



直径32~40mm の穴の中心に印を付けます。ネジ穴を開ける必要がある場合はネジ位置にも印を付けますが、後ほど位置を微調節する可能性があります。ネジ留めをする直前まで、穴を開けないようにしてください。

③ 印に合わせて穴を開ける

取り付け位置を決定したら、印に合わせて穴を開ける。



直径32~40mm の室外機取り付け穴

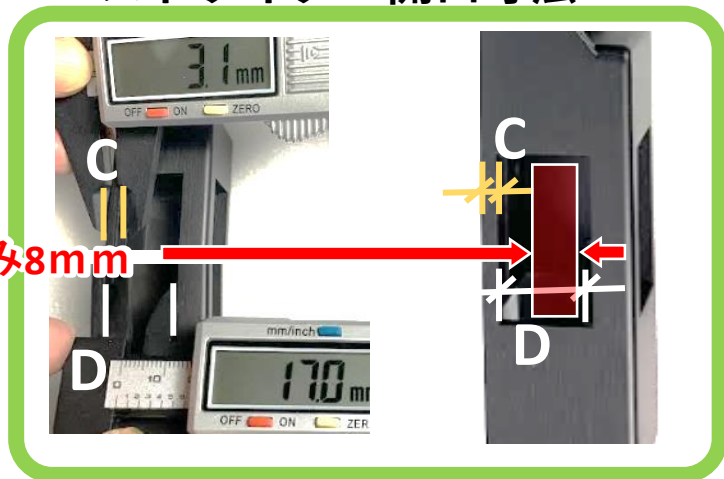
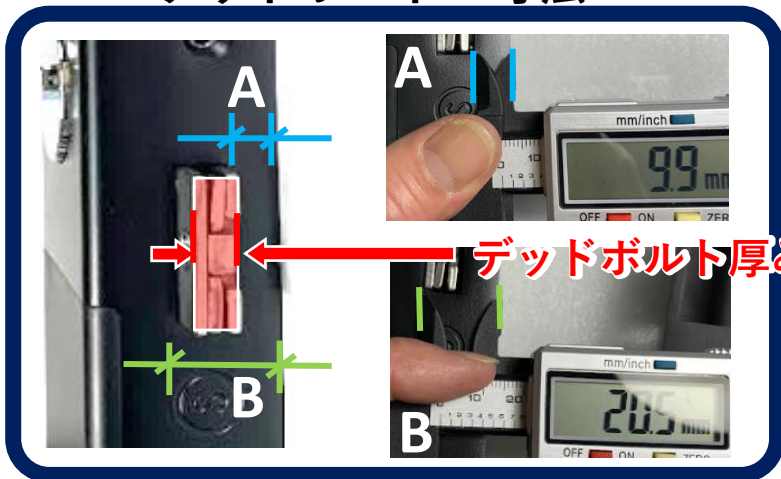
ホルソー 32φ~40φ

・ストライク取り付け用ネジ穴（必要に応じてドリルで穴を開けてください。）
開けた穴のエッジ部分にヤスリをかけて滑らかにしておくこと、設置しやすくなります。

④ 室内機かさ上げプレートの可否を確認する。

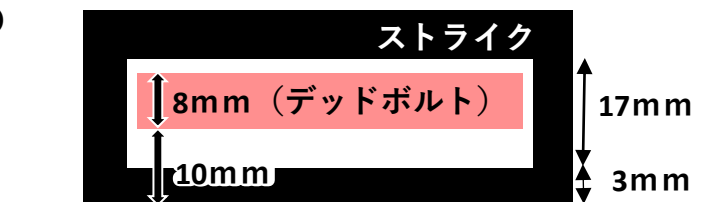
デッドボルト 寸法

ストライク 開口寸法



デッドボルト厚み8mm

戸当たりが無いフラットな面での
ストライク開口部と
デッドボルトのイメージ



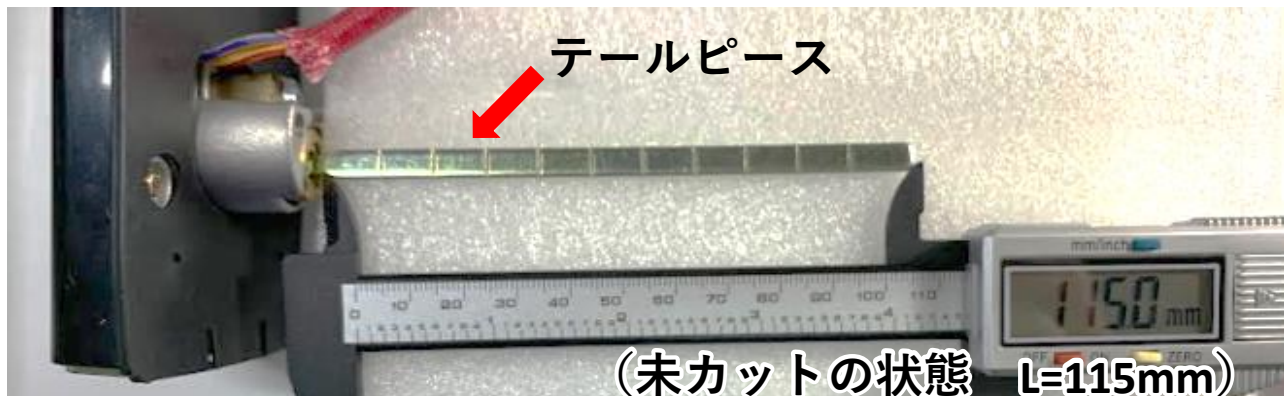
今回の戸当たりの高さ（段差）9.5mmです。
ストライクの開口部下限が3mmなので
12.5mmとなります。
今回スペーサーを1枚入れます。



室内機スペーサー
厚み：5mm

〈2〉 室外機、室内機の取付

■戸厚に合わせて テールピースをカットします。



■扉厚を測ります。

例



(ドア底面を計測ください)



今回はデジタルノギスで計測。
(±1ミリ程度の誤差は大丈夫です。)



【参考】

今回は戸厚が38mmです。
テールピースのカット寸法
を決めます。

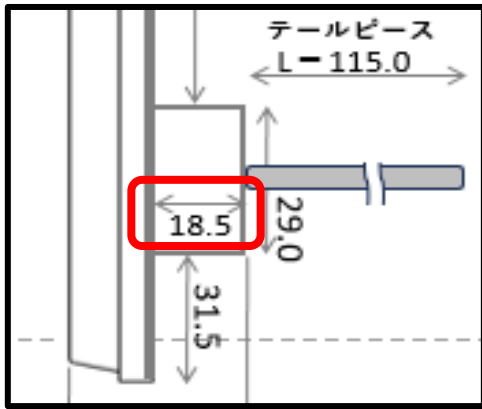
【ご注意：重要】

寸法が明確に出ない（自信が無い）場合は、
取り付け説明8ページの時に、実測で長さを測って、
テールピースをカットしてください。

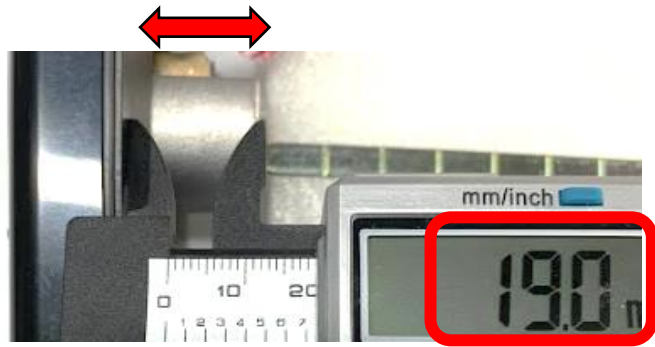
（様々な条件が絡むので「現合」が一番良いです）

※カット寸法を間違えて短くすると非常キーが使えません。

■室外機「軸受け」厚み寸法



図面上：18.5mm



軸受け実測値： 19mm

■室内機 テールピース挿入穴の奥行



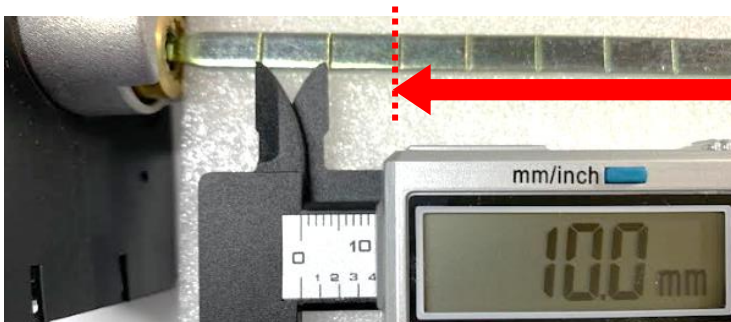
テールピースは、約20mmまでは差し込み可能

■今回のカット寸法

戸厚38mm + スペーサー5mm = 厚み合計43mm

43mm - 軸受け19mm = カット寸法24mm

24mm以上でカットとなります。



30mmでOK。

3つ目の目安線を糸鋸
などでカットします。

(10mmピッチで目安線が入ってます。)



テールピース カット完了



■室外機と室内機固定板を貼り合わせてネジで固定します。

①ケーブルを通す

固定板の長穴が小さいため、ケーブルを通す際ケーブルに傷をつけないよう十分に気を付けてください。

②室外機と室内機固定板の水平垂直を確認しながら2か所のネジを締めてください。

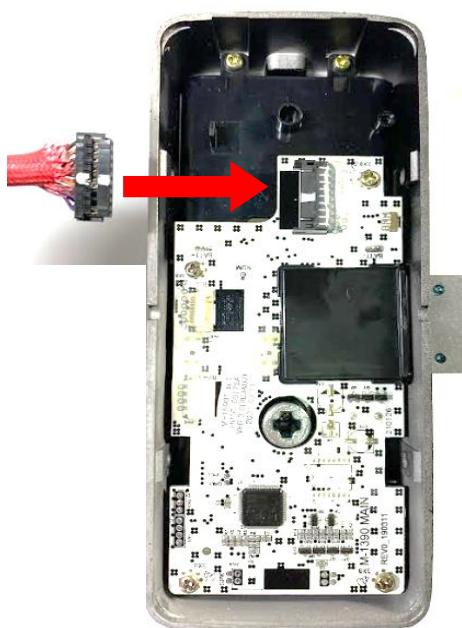
2か所のネジ締めが均等になるよう、相互に少しずつネジ締めを行います。

(ネジ締めが均一になったら終了)

■ケーブルを室内機のコネクタに差し込みます。

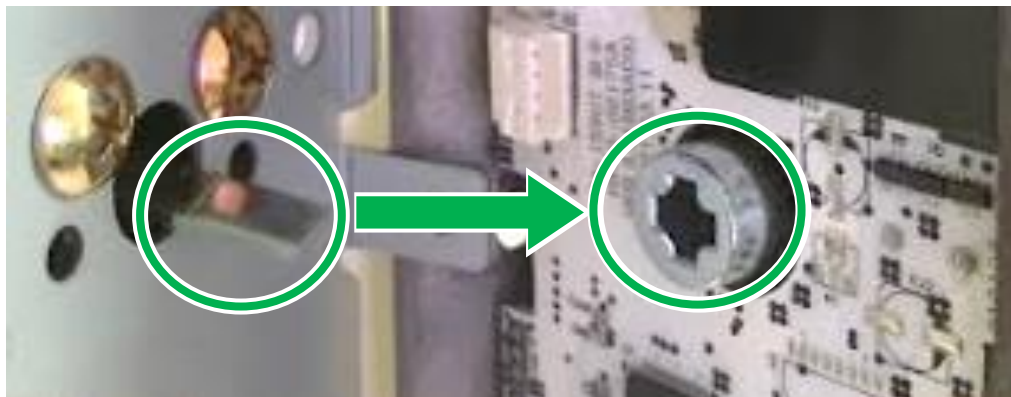
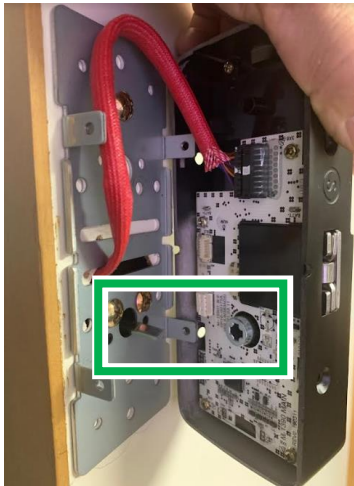
※コネクタの向きに注意してください。

間違い防止に白マークを付けてあります。



■室内機を固定板に被せてネジで固定します。

テールピースを室内機に差し込みます。



テールピースを平面にして室内機へ。

【テールピース 室内機へ、はめ込み アドバイス】



テールピースの「挿入が難しい」「うまく入らない」とお声を耳にします。室内機サムターンを回しながらはめ込むとサクッと挿入可能な場合もあります。

【被せる際のご注意】

ケーブルの挟み込みに充分注意してください。

※室内機内に収まらないと破線となり故障の原因になります。

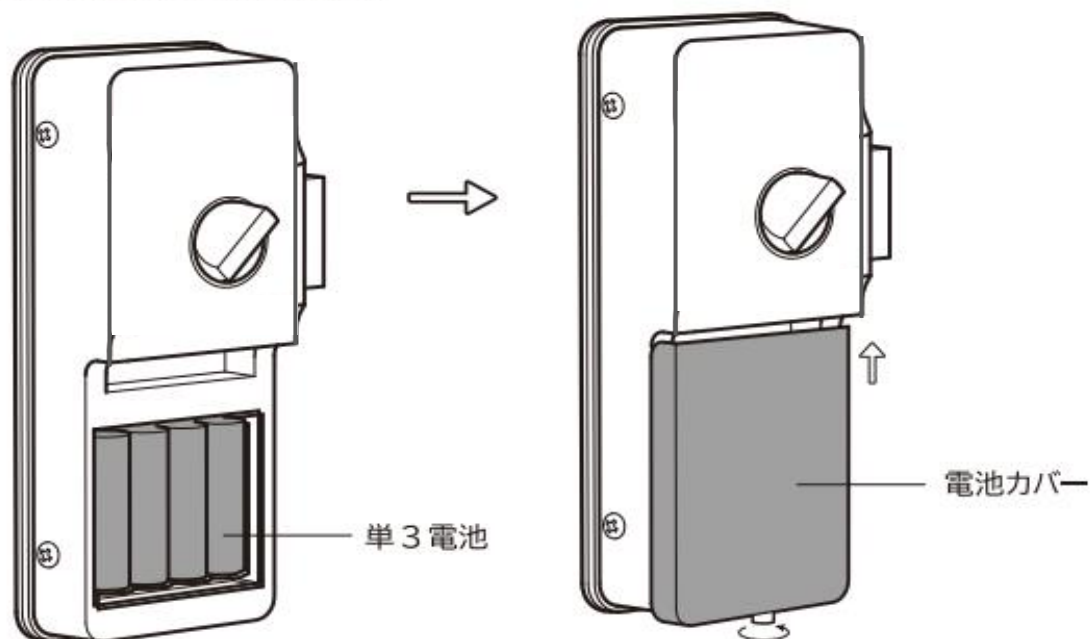
左右2か所のネジで固定します。

※4か所のネジが締められず室内機が壁から浮いている場合は
テールピースのカット寸法が
間違っているかもしれません、再確認願います。



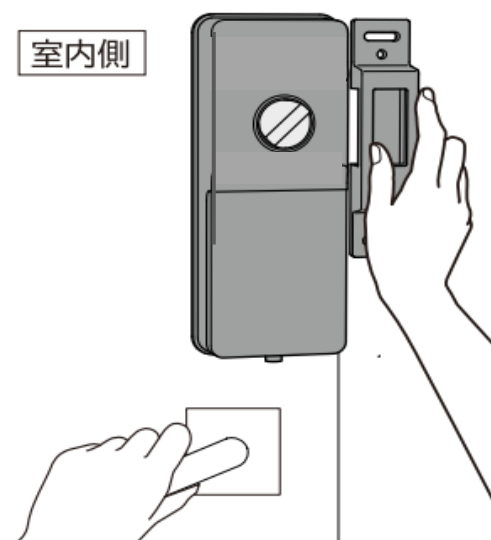
〈3〉 動作確認

電池を挿入し、電池カバーを閉じる。
※電池の向きに注意してください。



！重要

ストライクをあてがいながら、再度ドアの開け閉めを試してください。ストライクと室内機が干渉せず問題なく開閉できるかデッドボルトを出し入れした際に、ストライクにきちんと収まるか、オートロックはきちんと作動するかを確認してください。

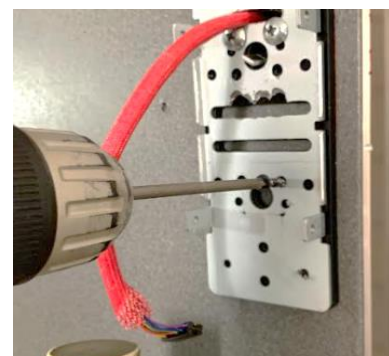


バックパネルをネジで、ドアに固定する。
ストライクと室内機の位置に問題がないことを確認後、
電池と室内機（ネジとコネクター）を外して、室内機の
取付手順（8ページ）の状態に戻ってください。

（ケーブルをドア内から引き出す必要はありません）

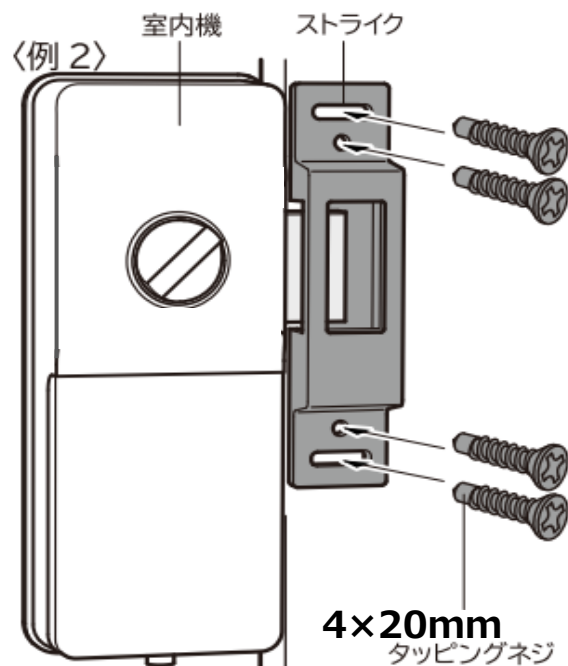
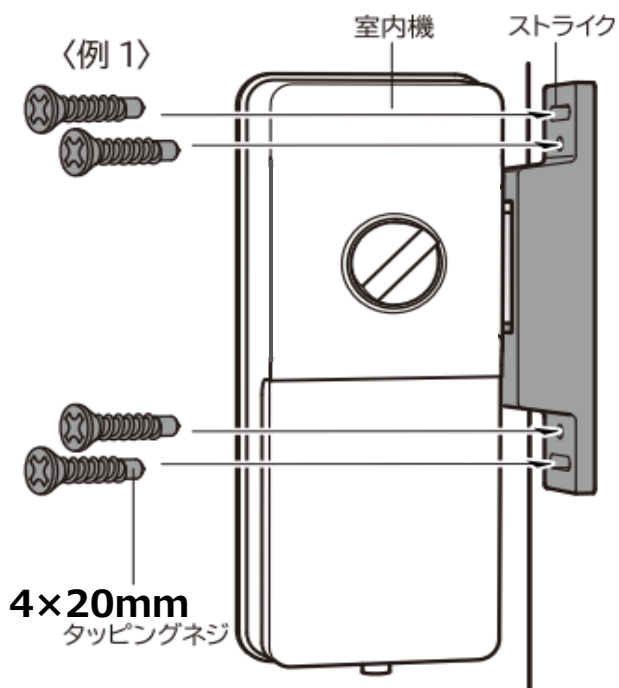
扉の材質によってネジ下穴を開ける必要がある場合は
この段階で開けてください。

早い段階で開けてしまうと微調節が利かなくなります。



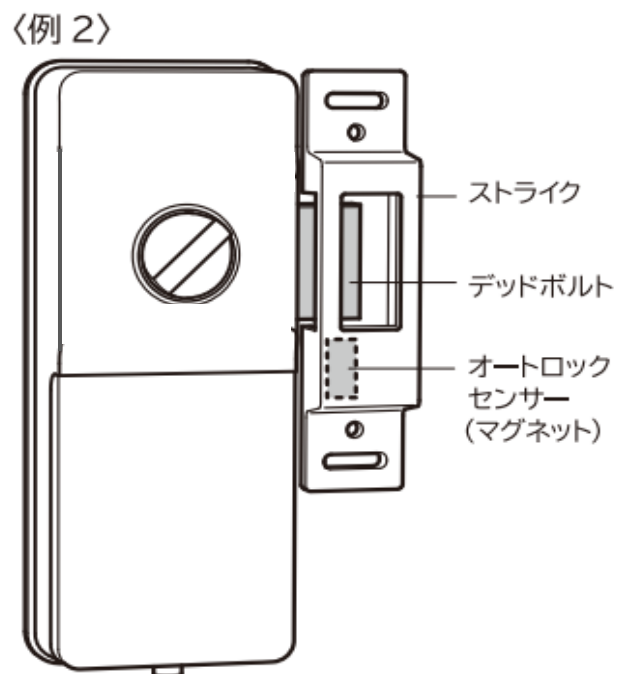
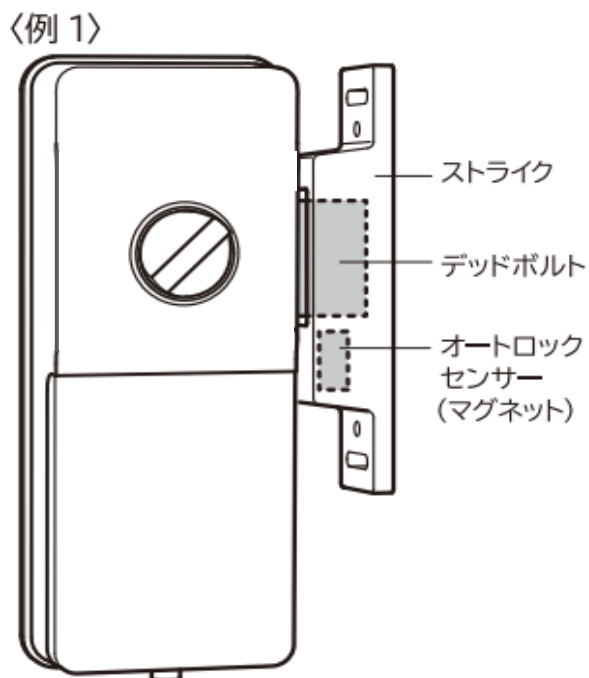
ストライクの取り付け

① ストライクをネジで固定する。



〈4〉 取り付け完了

オートロックセンサーがしっかりと感知されデッドボルトがストライクに収まっていることを確認してください。



※取り付け完了後、必ずドアを開けた状態で、登録・設定作業を行ってください。
※暗証番号の誤登録もあるため、登録後の動作テストもドアを開けた状態で
行ってください。